

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

共に創る掛川
富田まゆみ



コロナ感染による自宅療養者への支援は

Q コロナ感染による自宅療養者や入院調整中の方に対し、パルスオキシメーターの貸出し・配食サービス・買い物代行などの支援が必要と考えるが、いかがか。



パルスオキシメーター

保健所により必要な方への支援がされている

A パルスオキシメーターの貸出し等については、保健所により必要な方への対応がされていると伺っていますので、現時点で掛川市としての支援は考えていません。自宅療養者から食料支援などの相談があれば、保健所をご案内する対応をしています。また、今後は保健所等

と支援体制について検討していきます。

コロナ感染により家庭内保育となる保護者への休業支援は

Q コロナ感染により家庭内保育のため、有給休暇で対応する保護者や、有給休暇すらない雇用形態の方々への対応と、企業への働きかけについて伺う。

企業に対し助成制度の周知や休暇取得のお願いをしていく

A 現在、保護者の休暇取得支援として、企業に対し静岡労働局所管の「両立支援等助成金」がありますが、8月1日以降に取得した休暇については、「小学校休業等対応助成金・支援金」制度が再開される予定です。掛川市では、市内企業へ助成内容のお知らせや、保護者の休暇取得のお願いをするとともに、制度周知を図っていきます。

【その他の質問事項】

・補正予算事業の今年度分の進捗と今後の市民への支援について
・学校給食センターについて

創世会
安田 彰



小学校における安全で安心な学習環境を目指して

Q 小学校に配置されている学校サポーターの勤務時間を1時間増やして5時間勤務にすることで、昼休みの安全性が高まると思われるが実現は可能か伺う。

学校サポーターの勤務形態変更は慎重な検討が必要である

A 現在、学校サポーターは原則1日4時間、週5日、年間736時間という勤務条件でお願いしています。1日5時間勤務にする等の柔軟な対応は可能ですが、学校の意向や学校サポーター本人の希望する勤務形態にも配慮する必要があるため、より慎重な検討が必要であると考えます。

小中学生の通学の安全性を高める取り組みは

Q 本市でも通学路の安全点検及び危険箇所改善が行われている。安全性を更に高めるには、

各地区で行っている取り組みについての情報交換が必要だと思いが、見解を伺う。



地域の方による見守り活動

関係機関、地域間の情報交換により活動を活性化させる

A 現在、「掛川市交通安全対策協議会」、「交通安全協会掛川地区支部分会」などで、地域を含む関係機関による情報交換を実施しています。このような機会を通じて、関係機関、地域間の情報共有を図り、各地区の活動がより活発化していくように、引き続き取り組んでいきます。